

# 令和元年度 鹿児島県看護協会 鹿児島地区第2回研修会

テーマ：呼吸・循環のフィジカルアセスメント

令和元年7月27日(土)

講師：中村 倫丈先生 (集中ケア認定看護師)



参加者:106名  
アンケート回収106名



答えは目の前の患者にある

モニターや数字だけでは、見えないことも多い

・ベッドサイドでこそ、わかる情報がある。



## 企画してほしい研修

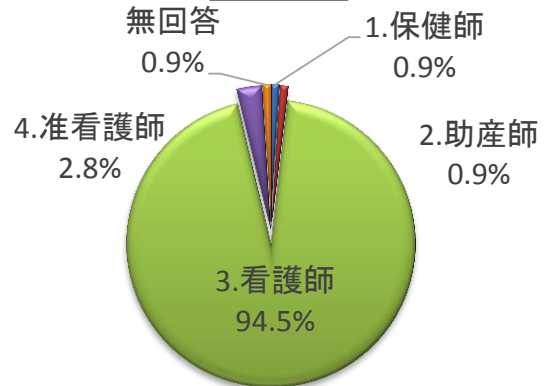
心電図 緩和ケア ハイリスク薬の取り扱い・検査データから分かること、気づきのポイント  
新人やブランクのある看護師のための研修など

## 参加の動機

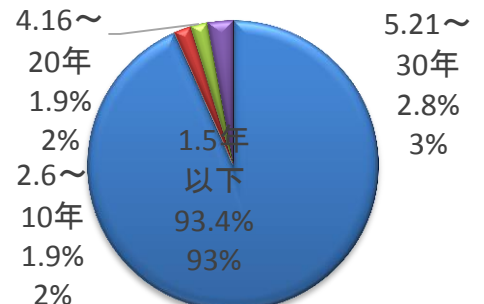
参加の動機	件数	構成割合(%)
1.上司のすすめ	72	68.0%
2.自分から希望	33	31.1%
無回答	1	0.9%

参加の動機「2.自分から希望」と回答した方	件数
1) テーマ・内容に関心がある	3
2) 知識・技術を得たい・深めたい	13
2-3) 実践に役立てたい	12
4) 職場・自分の問題解決のため	0
5) 役割上必要なため	0
6) その他	0
無回答	5

## 職種

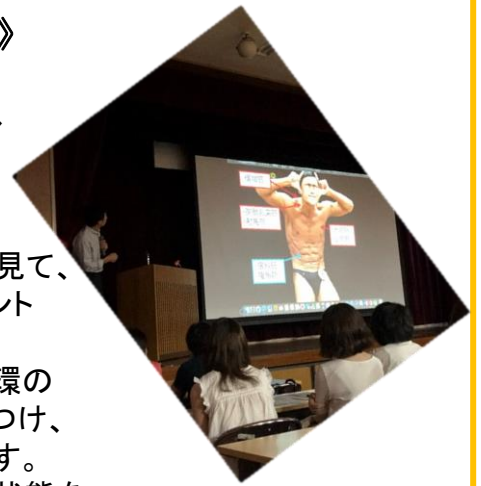


## 経験年数



## 《研修に参加しての感想》

- ・入職してから4ヶ月が経って日々するバイタル測定の中でも生命に関わる循環と呼吸について学びを深めることができ、とても分かりやすかった。
- ・すぐわかりやすい説明とスライドでした。  
私はICUで働いています。  
挿管していて患者さんの主訴を聞けない状態ですが、表情を見て、手で触れて、測ってみて、様々な視点からフィジカルアセスメントを実施して、異常の早期発見に努めていきます。
- ・本日の研修を受け、実際に目の前の患者様を見て、呼吸・循環のフィジカルアセスメントをしっかりとし、まずは正常を耳に覚えつけ、少しの異常も早期に分かっていければ、今後いいなと思います。
- ・呼吸系のフィジカルアセスメントにおいて、実際の異常な呼吸状態を動画で見ることができ、臨床においてとてもイメージしやすく、異常時を考える事ができました。  
とてもわかりやすい講習で学生のころにお話しききたかったと思います。
- ・これまで経験した急変時の場面を振り返り、より学ぶことができました。
- ・中々、復習する時間なく、教科書だけで理解しづらいところもあるため映像や音がみれて分かりやすく理解できたと思います。
- ・フィジカルアセスメントの勉強会は今回3回目(10年間で)でした。点と点がつながり、理解を深める事ができました。呼吸音を聴く事(異常音)が出来、比較(日常と)することができそうです。
- ・患者様に起る1つ1つのサインについて詳しく学ぶ事が出来ました。ありがとうございました。
- ・10年以上のブランクを経てNsに復帰しました。とても基本的な観察について教えていただき分かりやすかったです。聴診の基本がわかりやすく、実践にいかしていきたいです。
- ・今回の研修で、急性期で働いているので患者さんの急変に対応できる観察をできるようにしたいと思いました



## 《研修会を通して》

新人研修ということで、20代の参加者が多くみられました。内容は、問診・視診・触診・聴診・打診等の手法を使い全身の観察をするための知識を、先生の経験談をふまえた解りやすいものでした。今後、自主トレーニングや日々の実践の中で確実な技術になっていくと思いました。看護師の行うフィジカルアセスメントの重要性を再認識した有意義な研修になりました。

文責 山元 恵子



入会してポイントを貯めよう!  
当日、入会も出来ますよ~(\*\_\*)/



入会のご案内：<http://k-kango.jp/annai/nyukai/>